

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 生涯学習フェスタ

～まなぼう・あそぼう・つたえよう～

生涯学習フェスタが3月6日、市中央公民館で開催され、訪れた市民は多彩なイベントを楽しみました。

この催しは、公民館講座などで学習した成果を地域に還元し、活躍につなげていくことを目的に今年初めて開催されました。

会場には、各ブースに体験コーナーが設けられ、来場者は新聞紙を利用したエコバックや、ちりめんの小物づくり、折り紙等に挑戦していました。また、「百人一首」や「ネイガーかるたとり」、「ミュージックケア」では、会場に訪れた子どもから高齢者までの皆さんと一緒に参加し、ふれあいながら楽しみました。



◀ 折り紙で花や動物に挑戦  
(宋すみれ会)



▶ ミュージックケアでは子どもから大人まで楽しみました。



◀ 「手おり」実演コーナーでは初めての体験も。



▲新聞紙を使ってエコバック作り



▲「母と子のわくわく広場」では、ミニ障害物を就学前のちびっこたちがハイハイ競争



▲仔やぎの会の人形劇



▲突然、アニアイザーが登場



▶ フィナーレは平均年齢75歳「峠のシルバードフォー」

## 公民館からのお知らせ

4月1日より、市内の各公民館の使用料が改正されます。また、中央公民館分館は廃止になります。

なお、新料金は右のとおりです。

(各公民館共通)

問合せ 中央公民館

☎62-1130

区分	入場料(有)	午前	午後	夜間	冷暖房料金1時間当たり
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:30	
ホール	入場料(無)	3,150円	3,150円	3,150円	1,050円
	入場料(有)	5,250円	5,250円	6,300円	
	営利・興行	10,500円	15,750円	21,000円	
一室 (ホール・調理室以外)	入場料(無)	1,050円	1,050円	1,050円	210円
	入場料(有)	1,570円	1,570円	2,100円	
	営利・興行	5,250円	6,300円	7,350円	
調理室		2,100円	2,100円	2,100円	210円

## 高齢者大学受講生募集!

◎5月開講

平成23年度高齢者大学を各地区で開講します。受講を希望される方は、生涯学習課・各公民館へお申し込みください。運営費はいずれも千円です。

### 高鷹大学

テーマ「仲間と楽しく学び合おう」  
内容 全体講座等、年6回程度  
クラブ活動月1～2回。

対象 55歳以上の方

受付 4月1日(金)～4月15日(金)

問申 中央公民館 ☎62-1130

### 合川こびぎ大学

テーマ「学び続ける喜びの発見と仲間作り」  
内容 年8回の実施を予定(講演会、移動研修、運動会など)

対象 55歳以上の方

受付 4月1日(金)～4月20日(水)

問申 合川公民館 ☎78-2114

### 森吉大学

テーマ「新たな生きがいに挑戦してみよう」  
内容 年6回の実施を予定(講演会、移動研修、学習会など)

対象 55歳以上の方

受付 4月1日(金)～4月28日(木)

問申 森吉公民館 ☎72-3259

## 阿仁生き生き大学

テーマ「楽しく学んでいきいきと!」

内容 年6回(講演会、移動研修、歴史探訪など)

対象 60歳以上の方

受付 4月1日(金)～4月28日(木)

問申 阿仁公民館 ☎82-2220

### 団員募集!

浜辺の歌音楽館少年少女合唱団

音楽好きな子どもたちで構成された「浜辺の歌音楽館少年少女合唱団」は、郷土出身の作曲家・成田為三先生の作品を中心に、いろいろな曲を楽しく歌い活動しています。素敵なメロディーを自分たちの歌声で受け継いでいきましょう。

対象 小学校1年生～高校3年生

練習場所 森吉コミュニティセンター

練習時間 毎週土曜日午前9時～12時

参加費 無料

制服 無料貸与

問申 生涯学習課文化班 ☎62-6618

制 服 無料貸与

### エコバックを「活用ください」

生涯学習フェスタで紹介したエコバックを中央公民館においています。どなたでも自由にご利用ください。また、ご家庭で作られた方は中央公民館にお持ちください。皆さまに提供させていただきます。

問申 中央公民館 ☎62-1130

## ふるさとの文化財

### 北秋田市指定有形文化財(書跡)

#### 菅江真澄筆

#### 「四十二の祝」の書(一中)

◇所在地:川井字屋布岱15-4  
◇所有者:個人  
(保管者:県立博物館、寄託資料)

文化年間(1804年)阿仁地方を旅した紀行家菅江真澄が、合川川井の神職であった斎藤治継の42歳のお祝いに贈った歌です。書には、

「ことし 斎藤治継ぬし 用装まり布多都の齢へにけことほきなんしければそか祝ひのころを 巨度斯より 人の行寿永 齢由鶴のひなまでも友とし遊べ 真栖花押)」

と書かれ、千年も長生きしてほしいという願いが込められている内容です。文化2年(真澄52歳頃)の筆と推測されています。(用装四十、布多都、ふたつ、巨度斯、ことし、行寿永、ゆくすえ、寿永と長寿を意味する漢字、齢由、よわひよし)

真澄は、享和2(1802)年頃から文化2(1805)年にかけて阿仁地方(森吉、阿仁、合川)及び小猿部地区を旅し、斎藤家中

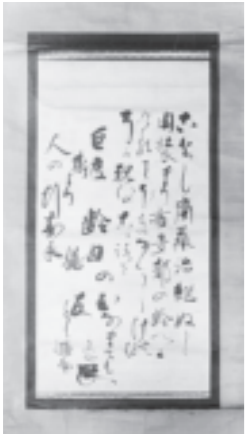
心に宿泊・滞在しています。

菅江真澄は、宝暦4(1754)年三河国(愛知県)に生まれた国学者であり紀行家で、天明4(1784)年から東北地方を巡遊しました。そして各地の名所旧跡や寺社、人々の衣食住、産物、歴史、伝説や伝承、信仰、歌や踊り、鉱山、植物など様々な分野の記録を残しています。真澄の著書として、『真澄遊覧記』とよばれる日記の他、地誌や随筆などがあります。当地方に関連した記録(スケッチ)として、小ヶ田「埋没家屋」、「阿仁で見た人面土器」などがあります。

▽平成8年6月24日指定

▽資料/「合川町の文化財」、「真澄研究13号」、「森吉山麓菅江真澄の旅」、「菅江真澄と秋田」、「菅江真澄の見た森吉」他

▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二



条幅(150×43cm)